

日本の養蜂業に見る人と自然のかかわり

The relationship between honeybees and nature in the Japanese context

*柚洞 一央¹

*Kazuhiro Yuhora¹

1.徳山大学

1.Tokuyama University

「花蜜 (nectar)」という資源は無主物と考えられている。ミツバチが利用することで資源として活用されるものと考えられている。養蜂家が利用する植物は大きく分けて2種類に分かれる。ソバやナタネなどの栽培植物とトチノキやアカシアなどの自生植物に分けられる。本報告では、養蜂家の視点から自然と人のかかわりを考えたい。

キーワード：自然資源利用、環境要因、ミツバチ

Keywords: Natural resource management, environmental factors, honeybees